

当院に新型コロナウイルス感染症にて入院をされた方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	日本に於ける新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者での静脈血栓塞栓症の実態を調査する研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	血管外科、呼吸器・アレルギー内科、感染症科
研究責任者	(職名)血管外科 助教 (氏名)丸山 優貴
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	桑名市総合医療センター 循環器内科 副病院長 山田 典一
研究の意義・目的	COVID-19 は、エコノミークラス症候群としても知られている静脈血栓塞栓症(VTE)を高頻度で合併する事が報告されています。現時点では、日本のCOVID-19 患者でのVTE に関する検討がほとんど進んでおらず、その実態は不明な状況です。そこで、今回 COVID-19 症例を対象としたVTE 発症の実態を調査する研究を実施する方針としました。本研究の結果により、今後日本でのCOVID-19 患者への最適な治療を検討する際に役立つデータになると期待されます。
対象となる患者さん	2020年3月から2020年10月までにCOVID-19と診断され入院をされた患者さんの中で入院中に造影CT検査が実施された患者さん
研究の方法	診療を受けられた際の電子カルテ情報からデータを取り出し、主任担当施設に提出し担当医師が解析を行います。 研究計画や方法について詳細をご希望の方は下記問い合わせ先までお申し出ください。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年12月31日
研究に用いる情報	対象患者さんの年齢、性別、併存症、治療内容等
外部への試料・情報の提供	データは、個人が特定されない形に匿名化され、電子データとして主任研究施設および担当医師に提供されます。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年12月31日までに下記問い合わせ先までお申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学

医学部外科学講座（血管外科）

担当者：（職名）助教 （氏名）丸山 優貴

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311（外科医局：22140）